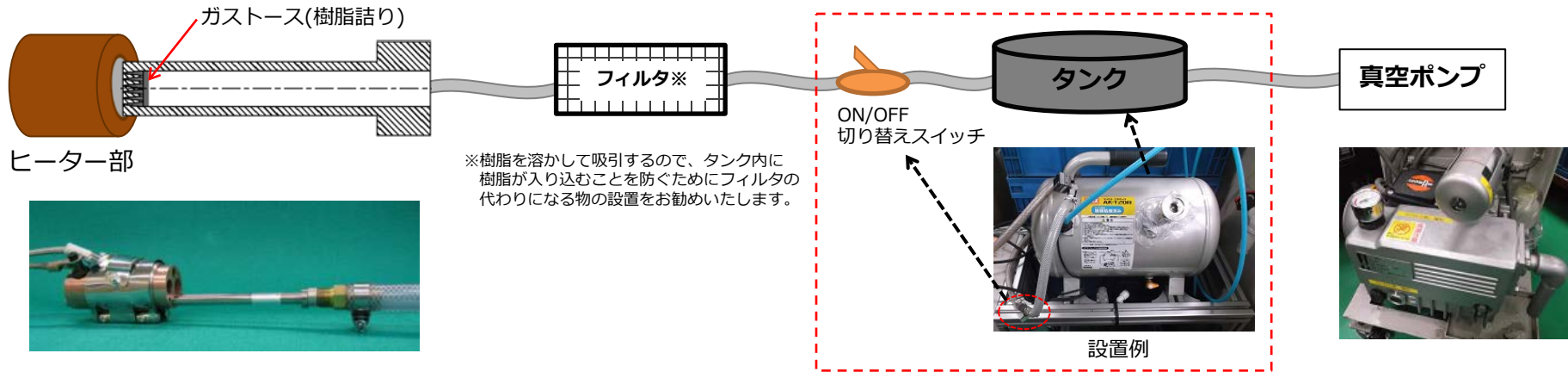


樹脂詰り除去方法 準備

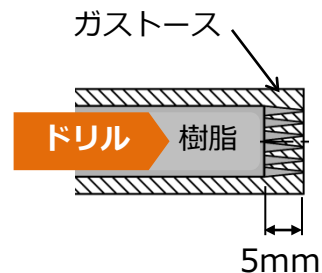
万が一樹脂が詰ってしまった場合の、弊社での除去方法をご紹介します。
 2通りの除去方法を紹介いたしますが、いずれの方法も真空ポンプを使用します。
 取出した樹脂が真空ポンプ内に入らない様、弊社では下図の様な準備をしてから除去作業をご提案しております。



弊社方法では、真空ポンプの他にタンクを使用しております。
 タンク内を吸引に必要な負圧にし、切り替えスイッチを用いて吸引しております。
 タンクを使用する事により、常時真空ポンプを起動している必要がありません。



POINT

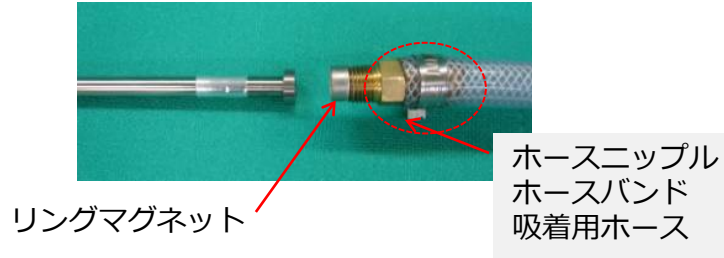


樹脂が先端部分だけではなく、内部まで詰ってしまった場合は、
 左図の様にピンの裏側からドリル等で樹脂を掻き出してから、次の作業に取り掛かってください。
 その際は、ガストースの先端部分(スリット面)から5mmは必ず残すようにしてください。
 ガストースのベント部分の破壊に繋がります。(A~Eタイプ以外は10mm以上)

樹脂詰り除去方法 除去方法【銅棒使用】

万が一樹脂が詰ってしまった場合の、弊社での除去方法をご紹介します。

手順③



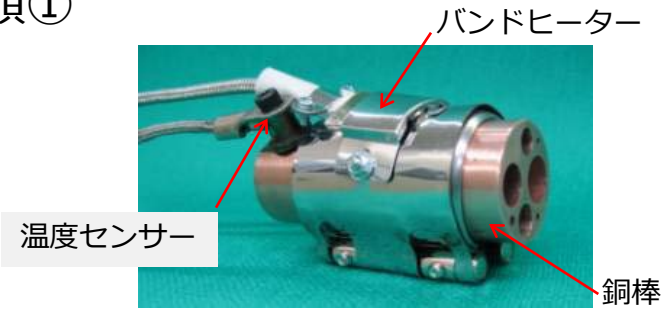
吸引用のホースを準備し真空ポンプに繋がします。
先端にホースニップルを差し込み、ホースバンドで固定します。
ホースニップルの先端には、リングマグネットを接着します。

手順④



ガストースをリングマグネットに密着させ銅棒に差し込みます。
温度を管理しながら、樹脂が溶解する温度まで加熱し真空ポンプで吸引します。

手順①



Φ30×80の銅棒に樹脂詰りをした「ガストースの径+0.1mm程度の穴」をあけます。その銅棒にバンドヒーターと温度センサーを取り付けます。

手順②



ガストースの横穴を塞ぐ為に、適当な大きさにカットしたアルミテープを巻きつけます。



ライターやバーナーで炙ると炭化して取れなくなります。

樹脂詰り除去方法 除去方法【ホットプレート使用】

万が一樹脂が詰ってしまった場合の、弊社での除去方法をご紹介します。

手順③



銅板にガストースを立て樹脂の溶解温度まで加熱します。

手順①



銅板へ通し穴加工

ホットプレート

厚さ15mmの銅板にガストースが入る穴をあけ、ホットプレートに銅板を載せます。

手順④



吸引用のホースを準備し真空ポンプに繋ぎ、真空ポンプで吸引します。

手順②



アルミテープ

ガストースの横穴を塞ぐ為に、適当な大きさにカットしたアルミテープを巻きつけます。



ライターやバーナーで炙ると炭化して取れなくなります。